



2023年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2022年8月9日

上場会社名 株式会社昭和システムエンジニアリング 上場取引所 東
 コード番号 4752 URL <http://www.showa-sys-eng.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 尾崎 裕一
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 五十嵐 真貴 TEL 03-3639-9051
 四半期報告書提出予定日 2022年8月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第1四半期の業績（2022年4月1日～2022年6月30日）

(1) 経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	1,661	9.6	178	6.7	184	7.3	126	7.1
2022年3月期第1四半期	1,516	3.1	167	31.8	171	30.6	118	30.9

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	28.92	—
2022年3月期第1四半期	26.70	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第1四半期	6,871	3,977	57.9
2022年3月期	7,222	4,013	55.6

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 3,977百万円 2022年3月期 4,013百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	32.00	32.00
2023年3月期	—	—	—	—	—
2023年3月期（予想）	—	0.00	—	32.00	32.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2023年3月期の業績予想（2022年4月1日～2023年3月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	3,200	2.6	346	2.6	351	2.4	240	2.2	54.86
通期	6,600	2.2	640	4.4	650	4.5	435	3.6	99.43

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年3月期1Q	4,810,000株	2022年3月期	4,810,000株
② 期末自己株式数	2023年3月期1Q	435,169株	2022年3月期	435,169株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2023年3月期1Q	4,374,831株	2022年3月期1Q	4,424,831株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	4
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	5
(継続企業の前提に関する注記)	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	5
(会計方針の変更)	5
(セグメント情報等)	5

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、ワクチン接種の進展等により緩やかながらも持ち直しの動きが見られました。しかしながら変異ウイルスによる感染再拡大、ウクライナ情勢、資源価格や海外経済の動向等、不確実且つ不透明な状況は続くものと考えております。

当社を取り巻く情報サービス産業においては、企業、行政のIT投資需要が堅調に推移しており、レガシーシステムの再構築、クラウドへの移行、業務プロセスのデジタル化等、デジタルトランスフォーメーション(DX)の推進が一層加速しております。

このような環境下、当社は2022年4月から2025年3月における新たな中期経営計画「+transform 2nd Stage」を開始いたしました。4つの基本方針「①DXの推進、②既存ビジネス領域の維持・拡大、③社内デジタル基盤の強化、④人材確保と働き方改革」のもと、パイモダルのDXカンパニー実現に向けた取り組みを進め企業価値を高めてまいります。

当第1四半期累計期間における受注環境は堅調に推移し、結果、売上高1,661百万円(前年同期比9.6%増)、営業利益178百万円(前年同期比6.7%増)、経常利益184百万円(前年同期比7.3%増)、四半期純利益126百万円(前年同期比7.1%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(流動資産)

当第1四半期会計期間末における流動資産は5,516百万円(前事業年度末比288百万円減少)となりました。主な要因は現金及び預金が256百万円、売掛金及び契約資産が44百万円それぞれ減少したことによるものであります。

(固定資産)

当第1四半期会計期間末における固定資産は1,355百万円(同63百万円減少)となりました。主な要因はソフトウェア仮勘定が17百万円増加したものの、投資その他の資産に含めた投資有価証券の時価評価額が33百万円、繰延税金資産が46百万円それぞれ減少したことによるものであります。

その結果、当第1四半期会計期間末における資産合計は6,871百万円(同351百万円減少)となりました。

(流動負債)

当第1四半期会計期間末における流動負債は771百万円(同319百万円減少)となりました。主な要因は賞与引当金が240百万円減少したことによるものであります。

(固定負債)

当第1四半期会計期間末における固定負債は2,122百万円(同4百万円増加)となりました。これは退職給付引当金が4百万円増加したことによるものであります。

その結果、当第1四半期会計期間末における負債合計は2,894百万円(同314百万円減少)となりました。

(純資産)

当第1四半期会計期間末における純資産合計は3,977百万円(同36百万円減少)となりました。主な要因は四半期純利益126百万円による利益剰余金の増加があったものの、その他有価証券評価差額金23百万円の減少及び配当金の支払139百万円による利益剰余金の減少によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の通期業績予想につきましては、2022年5月12日に発表いたしました業績予想数値に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年3月31日)	当第1四半期会計期間 (2022年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,997,891	4,741,111
売掛金及び契約資産	777,634	732,977
仕掛品	3,466	17,627
その他	25,170	24,428
流動資産合計	5,804,163	5,516,144
固定資産		
有形固定資産	163,364	161,665
無形固定資産		
ソフトウェア仮勘定	4,588	21,629
その他	3,332	3,332
無形固定資産合計	7,920	24,961
投資その他の資産		
繰延税金資産	727,864	681,278
その他	519,133	487,301
投資その他の資産合計	1,246,997	1,168,579
固定資産合計	1,418,282	1,355,206
資産合計	7,222,445	6,871,351
負債の部		
流動負債		
買掛金	253,296	238,374
短期借入金	10,000	10,000
未払法人税等	149,018	9,353
賞与引当金	386,424	146,146
その他	291,874	367,531
流動負債合計	1,090,614	771,405
固定負債		
役員退職慰労未払金	60,973	60,973
退職給付引当金	2,056,943	2,061,728
固定負債合計	2,117,916	2,122,702
負債合計	3,208,530	2,894,107
純資産の部		
株主資本		
資本金	630,500	630,500
資本剰余金	553,700	553,700
利益剰余金	3,123,452	3,109,958
自己株式	△237,938	△237,938
株主資本合計	4,069,714	4,056,220
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	123,579	100,402
土地再評価差額金	△179,378	△179,378
評価・換算差額等合計	△55,799	△78,976
純資産合計	4,013,914	3,977,244
負債純資産合計	7,222,445	6,871,351

(2) 四半期損益計算書
(第1四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
売上高	1,516,052	1,661,447
売上原価	1,243,984	1,373,877
売上総利益	272,068	287,569
販売費及び一般管理費	104,583	108,847
営業利益	167,484	178,722
営業外収益		
受取利息	79	63
受取配当金	3,837	4,923
受取家賃	465	465
受取手数料	155	147
雑収入	0	154
営業外収益合計	4,536	5,754
営業外費用		
支払利息	11	11
固定資産除却損	22	—
営業外費用合計	34	11
経常利益	171,987	184,465
税引前四半期純利益	171,987	184,465
法人税、住民税及び事業税	1,153	1,150
法人税等調整額	52,703	56,814
法人税等合計	53,856	57,964
四半期純利益	118,130	126,500

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を当第1四半期会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。なお、財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額(注)1	四半期損益計算書計上額(注)2
	ソフトウェア開発事業	BPO事業	合計		
売上高					
SEサービス	1,350,016	28,962	1,378,978	—	1,378,978
受注制作	137,074	—	137,074	—	137,074
計	1,487,090	28,962	1,516,052	—	1,516,052
セグメント利益	269,653	2,414	272,068	△104,583	167,484

(注) 1. セグメント利益の調整額△104,583千円は、報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額(注)1	四半期損益計算書計上額(注)2
	ソフトウェア開発事業	BPO事業	合計		
売上高					
SEサービス	1,478,941	35,377	1,514,318	—	1,514,318
受注制作	147,128	—	147,128	—	147,128
計	1,626,069	35,377	1,661,447	—	1,661,447
セグメント利益	285,091	2,478	287,569	△108,847	178,722

(注) 1. セグメント利益の調整額△108,847千円は、報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。